

科目名 (科目番号)		理学療法 治療計画論 (時間割参照)	教員名	永野克人 小林聖美 高尾敏文 木村剛英	学科等	理学療法	必修	履修年次	3
					曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
					授業形態	演習	オフィスアワー	別紙記載	
授業概要		運動器障害、神経系障害、内部障害、発達障害の四つのそれぞれの領域について症例(ペーパーペイシェント)検討の方法を学びます。授業は「症例の状態を分析する」「症状を整理する」「必要となる情報・検査・測定を考える」「評価結果を意味づける」といった各段階ごとに進めます。実際にその患者さんを担当しているつもりで治療を立ててください。							
目的・目標		目的:それぞれの疾患領域の患者さんについて、議論し考察するなかで疾患に対する知識や、理学療法を計画するまでの過程を学ぶ。 目標:実際にそれぞれの疾患領域の患者さんについて、理学療法の治療計画のしくみが理解できるようになる。							
準備学習		毎回の授業の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。							
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	理学療法治療計画論 概要		到達目標:理学療法評価におけるセラピストの思考過程を理解する。 学習内容:「検査と測定」から「評価」へ、「統合と解釈」そして治療計画の過程を学ぶ。					
	2	各障害領域ごとの学習内容 について		到達目標:グループ学習の内容と、準備すべき事項を理解する。 学習内容:各障害領域ごとにグループで学習する課題のオリエンテーションを行う。					
	3	グループ学習 第1期		到達目標:それぞれの障害についての障害の特徴を理解する。 学習内容:代表的な疾患の患者さんを具体的にイメージしてみよう。					
	4	グループ学習 第1期		〃					
	5	グループ学習 第1期		〃					
	6	グループ学習 第2期		〃					
	7	グループ学習 第2期		〃					
	8	グループ学習 第2期		〃					
	9	グループ学習 第3期		〃					
	10	グループ学習 第3期		〃					
	11	グループ学習 第3期		〃					
	12	グループ学習 第4期		〃					
	13	グループ学習 第4期		〃					
	14	グループ学習 第4期		〃					
	15	まとめ		到達目標:今後の学習あるいは臨床で学ぶべきことが分かるようになる。 学習内容:治療計画の実践力を身につけるため必要となるものは何か考えてみよう。					
成績評価の方法・基準		期末試験(100%)・・・授業内容に関して各障害領域(4領域)につき25点配分にて評価する。 合計で60点以上を合格とする(対面・オンライン共通)。							
教科書		各教員より資料を配付する。							
参考図書		授業中に随時紹介する。							
教員からのメッセージ		臨床での実践場面を想定した授業です。イメージがしづらいときは、オフィスアワーを利用して担当教員に相談してください。オンライン授業の場合にはグループごとではなく、各疾患領域ごとに授業を行います。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。本科目は、病院などで理学療法士として実務経験を有する教員が担当します。							